

区政 Now! (27年1月号)

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

区政



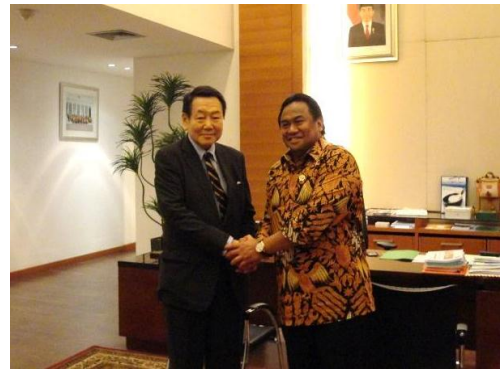
今夏、マレーシアの世界都市サミットで23区の清掃事業の取り組みを発表したのに引き続き、12月にはインドネシアのジャカルタにおいて廃棄物処理のセミナーを行ってまいりました。現在、23区の清掃技術は世界中で高く評価されております。今後とも、世界に誇る様々な技術・ノウハウを世界の都市の課題解決に役立てるため、引き続き国際協力を行ってまいります。

また、11月には、地域防災リーダー養成講習会や奥の細道千住あらかわサミット記念イベントなど、防災や地域文化に関する参加型の催しが行われました。これらの取組は、区民の皆さまの御参加・御協力があつて初めて成功するものです。今後とも皆さまと手を携え、幸福実感向上に向けた取組を進めてまいりますので、御理解・御協力をお願いいたします。

● 東京23区清掃一部事務組合の管理者としてインドネシア・ジャカルタを訪問しました

◇ 12月18日・19日の両日、ジャカルタにおいて開かれた環境事業者・住民向けのセミナーに、東京23区清掃一部事務組合の管理者として出席してまいりました。

◇ 18日午前中は、ジャカルタ特別州スタント・スホジョ知事補佐官、夜には貿易省・ラフマツト・ゴーベル貿易大臣と会談をし、これまでの東京23区清掃一部事務組合の取り組みの紹介や、ジャカルタの廃棄物課題についての意見交換を行うなど、今後の連携強化を確認いたしました。



ラフマツト・ゴーベル貿易大臣との面会の様子

◇ 18・19日に行われた第2回のワークショップでは、ジャカルタ清掃局やインドネシア環境省等の行政職員・住民を対象としたセミナーを行い、廃棄物処理施設導入に向けた東京23区の取り組みを紹介いたしました。

● 地域防災リーダー養成講習会及び永久水利を活用した訓練を実施しました

◇ 災害対応力の強化や地域防災力の向上を図るため、防災区民組織の防災担当の方々を主な対象とした「地域防災リーダー養成講習会」を、11月30日に開催しました。

◇ 同日には、尾久の原公園において消防団と防災区民組織等が参加して、永久水利（隅田川）を活用した遠距離送水訓練を行い、震災時における災害対応力の強化を図りました。また、12月6日には、防災区民組織で中核となる方々の知識の習得と区民の皆様の防災意識向上を目的とした講演会「防災・減災フォーラム」を行いました。



可搬消防ポンプの説明を受ける区民の様子

◇ 私は、都議会議員時代から、「自分たちのまちは自分たちで守る」という考えに基づき、中学生・高校生を「防災ジュニアリーダー」として育成する必要性を訴えてまいりました。今後、区におきましても、子どもたちが将来の地域の中核となることができるような取り組みを進めてまいります。

主な事業

● 平成27年度から放課後子ども総合プランの試行を開始します

- ◇ 平成27年度から、にこにこすくーると学童クラブの全児童の交流機会を増やし、さらに多様な体験プログラム等を提供する「放課後子ども総合プラン」を試行予定です。
- ◇ 放課後子ども総合プランは、平成27年度から新たに、にこにこすくーるを開設する第二瑞光小学校、第四峡田小学校、第七峡田小学校で実施するほか、既に、にこにこすくーるを開設している尾久第六小学校、第六日暮里小学校で実施します。
- ◇ 全ての児童の安全・安心な居場所づくりを目指し、平成28年度までに全小学校で、にこにこすくーるの開設に努めるとともに、順次、放課後子ども総合プランへ移行してまいります。

● 荒川区自治総合研究所第4回区民フォーラムを開催しました

- ◇ 12月8日、サンパール荒川において、荒川区自治総合研究所第4回区民フォーラム「みんなでつくる幸せのまちー荒川区民総幸福度（GAH）向上の取り組みー」を開催しました。



パネルディスカッションの様子

- ◇ 当日は、顧問の月尾嘉男 東京大学名誉教授から「地域から実現する幸福・幸福社会への巨大転換」をテーマに基調講演がありました。その後のパネルディスカッションでは、阿久戸光晴 学校法人聖学院理事長・院長をコーディネーターに、月尾先生をはじめ、富田崇敏 荒川区医師会会長、広井良典 千葉大学教授をパネリストにお招きし、幸福な地域社会の実現に向けた取り組みについて議論しました。
- ◇ 今後とも区民の皆さまとともに、幸福実感向上を目指した取り組みを進めてまいります。

● 「奥の細道千住あらかわサミット」を記念したイベントを開催しました

- ◇ 平成27年3月に開かれる「奥の細道千住あらかわサミット」を記念して、「芭蕉の大橋渡り」と「パネルディスカッション～奥の細道 芭蕉旅立ちの謎に迫る～」を11月30日に開催しました。



芭蕉に扮した参加者の皆様の様子

- ◇ 大橋渡りでは、南千住から奥の細道へ旅立った芭蕉の足跡を辿りつつ、芭蕉や町人に扮装をした参加者を先頭に、千住大橋の清掃をしながら橋渡りを行いました。

- ◇ パネルディスカッションでは、素盞雄神社を会場に、「松尾芭蕉は千住大橋を渡ったのか？」というテーマで、学芸員や郷土史家等の方々を招き、それぞれの視点から奥の細道旅立ちの謎について議論が交わされました。